



山と人との調和をモチーフに
デザイン開発。
基本カラーはエコグリーン。
デザインは木原実行さん。

第6回ひろしま「山の日」県民の集いの記録

【日時】 2007年10月21日(日)

【場所】 ●福山市: ふくやまふれ愛ランド
●東広島市: 憩いの森公園
●廿日市市: もみのき森林公園
●広島市: 広島市森林公園
●広島市: 広島県緑化センター
●三原市: 中央森林公園
●庄原市: かんぼの森

【主催】 ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
中国新聞社

「緑と水の森林基金」助成事業

第6回 ひろしま「山の日」県民の集いの記録



2007年10月21日(日)開催

ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会／中国新聞社

第6回ひろしま「山の日」県民の集い

「山の日」宣言

広島県の面積のおよそ70%は山です。
全国に誇る里山を有しています。

山から湧き出る水は命の源であり、その水が里の稲や野菜を育てています。
山を被う緑の木や草は、新鮮な空気をつくりだしています。
広島豊かな山で生まれた水は豊かな川となり瀬戸内海や日本海へ注ぎ
魚や貝を育てています。

私たちは「山に親しむ、山を楽しむ、山に学ぶ」をテーマに、
第6回ひろしま「山の日」県民の集いを、
福山市・ふくやまふれ愛ランド、東広島市・憩いの森公園、廿日市市・もみのき森林公園、
広島市・広島市森林公園、広島市・広島県緑化センター、三原市・中央森林公園、
庄原市・かんぼの森の県内7箇所の会場で開催いたします。

今日の事をきっかけに、ここひろしまの里山から、山や森の大切さを
理解し行動する人の輪を拡げていくことを、宣言します。

2007年10月21日

第6回ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
実行委員長 内海 康仁

事業のアウトライン

- 開催の位置づけ**
- (1) 第5回は全国育樹祭と連携したサテライト会場方式により広島県下5箇所の会場でより広い県民の参加を得る行事として実施した。結果、合わせて11,700人が参加、ひろしま「山の日」の存在を全国に知らせることとなった。
 - (2) これまで行なってきた広島県植樹祭の行事の機能をひろしま「山の日」県民の集いに集約し実施する事とする。第6回は、県民が主体となった行政とのコラボレーション事業の新たなスタートの年として位置づけている。
 - (3) 福山市をメイン会場に、県下6ヶ所にサテライト会場を設け、連携と主体性、裾野をより拡げることを方針に運営参加者が企画を持ち寄り実施する。

名称 第6回ひろしま「山の日」県民の集い

主旨 ○森林や山とかかわるきっかけづくりを目的に、「山に親しむ、山を楽しむ、山に学ぶ」をテーマとし、実体感型プログラムを多く取り入れたひろしま「山の日」県民の集いを、福山市をメイン会場に広島県下あわせて7ヶ所の会場で開催する。

日時 2007年10月21日(日)

- 場所**
- 福山市会場:ふくやまふれ愛ランド(福山市赤坂町大字赤坂甲545番地)
 - 東広島市会場:憩いの森公園(東広島市西条町寺家941-17)
 - 廿日市市会場:もみのき森林公園(廿日市市吉和1593-75)
 - 広島市会場:広島市森林公園(広島市東区福田町藤ヶ丸173)
広島県緑化センター(広島市東区福田町166-2)
 - 三原市会場:中央森林公園(三原市本郷町上北方1315)
 - 庄原市会場:憩いの森公園(庄原市新庄町281-17)

総参加者 10,960人

主催 ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
中国新聞社

後援 林野庁、広島県、広島県教育委員会、福山市、三原市、東広島市、広島市、廿日市市、庄原市、(社)国土緑化推進機構、(社)広島県みどり推進機構、福山商工会議所、(社)福山青年会議所、(社)広島県森林協会、(社)広島県木材組合連合会、ひろしまの森林づくりフォーラム、ひろしま緑づくりインフォメーションセンター、広島県山岳連盟、(社)日本山岳会広島支部、(財)中央森林公園協会、(財)広島市農林水産振興センター、(財)もみのき森林公園協会、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送

協賛 福山商工会議所、福山地域文化振興協議会、(株)ウッドワン、西条・山と水の環境機構、光和物産(株)、JAグループ広島、山陽乳業(株)、大和重工(株)、中国木材(株)、(株)中電工、帝人(株)三原事業所、(株)デオデオ、(株)広島バスセンター、広島県協同組合連絡協議会、(社)広島県造園建設業協会、広島市漁業協同組合、マツダ(株)、三菱重工業(株)紙・印刷機械事業部、アトム(株)、郷心会連合会、(有)はがくれ工業、三原郷心会、因島商工会議所、(株)勝村商店、クニヒロ(株)、グリーンラインを愛する会、幸陽船渠(株)、庄原商工会議所、中国企業(株)、東京農業大学校友会広島支部、西日本旅客鉄道(株)広島支社三原地域鉄道部、(社)日本造園建設業協会広島県支部、東中国菱重興産(株)、東広島商工会議所、広島ガス(株)、広島ガス開発(株)、広島商工会議所、(株)不二ビルサービス、府中商工会議所、ホーコス(株)、みずえ緑地(株)、(社)三原観光協会、三原市建設協会、三原市造園建設業協会、三原商工会議所、(株)山豊、(株)有斐園 (順不同)

目次

INDEX

1.事業のアウトライン	1
2.各プログラムの記録	2
(1)福山市メイン会場：ふくやまふれ愛ランド	2
(2)東広島市サテライト会場：憩いの森公園	7
(3)廿日市市サテライト会場：もみのき森林公園	11
(4)広島市サテライト会場：広島市森林公園	16
(5)広島市サテライト会場：広島県緑化センター	21
(6)三原市サテライト会場：中央森林公園	26
(7)庄原市サテライト会場：かんぼの森	30
3.実行委員・協力者・団体等	32

全体

■参加人数：約800名

▼プログラム状況

第6回ひろしま「山の日」県民の集いが、県下7会場
で10,900余名の参加をいただき開催されました。秋晴
れの下、けが人もなく当初の目的を達成できましたこと
に心より感謝申し上げます。「山に親しむ、山を楽しむ、
山に学ぶ」というテーマが、これほど積極果敢な人の
輪として具現化できたことは大きな喜びであります。メ
イン事業である「山のグランドワーク」には多くの人が、
とりわけ初心者の方が里山に入り、下草刈りや手入れ
にさわやかな汗をかいて下さいましたことに、感動しま
した。山や森の大切さを理解し、少しでも行動する人の
輪を拡げられたものと確信しております。

県東部では初めての開催となるメイン会場の福山
市「ふれ愛ランド」では、羽田皓福山市長を来賓に迎え
800余名の参加をいただきました。家族連れで里山に
入り広島県東部森林組合の皆さんの指導の下、私も
皆さんと汗をかかせてもらいました。

特に広島県山岳連盟、福山山岳会の皆様には、前
日から清掃登山、キャンプファイヤーと泊りがけで中心
的な役割を担っていただきました。また、「森のネイチャー
ゲーム」、日本野鳥の会広島県支部、福山山岳会の皆
様による「自然観察会」にも沢山の参加がありました。
同時に「展示・体験プログラム、ワークショップ」に出展
いただいた、ごみ5R推進本舗、グリーンラインを愛する
会、若手漁師の会を始め多くの団体、企業の皆様にも
多大なるお力添えを賜りました。

運営面では(社)福山青年会議所の皆さん、グリーン
リーダーズの子供さん方、本当にありがとうございました。

助成金では特に福山市、そして福山商工会議所、
広島経済同友会福山支部に、格別のご配慮をいた
だき感謝に堪えません。衷心より厚くお礼申し上げます。

広島県の面積の70パーセントを占める山。全国に誇
る里山を有するわが県。このイベントを通じ、山や森の
大切さを理解し行動する人の輪が拡げていくことを願
い、お礼の挨拶にさせていただきます。感謝。感謝。感
謝。

記録者：実行委員長 内海 康仁



●オープニングセレモニー



●あいさつする内海実行委員長



●中学生代表による「山の日」宣言



●羽田福山市長、内海実行委員長等代表者によるシダレザクラの記念植樹

ハイキング&清掃登山

■参加人数：約40名

▼プログラム状況

10月20日(土)13時 ひろしま「山の日」県民の集い
の開幕です。何度も会議を開き、幾度も現地へ出向
いたことか、ついに待ちに待った瞬間でもありました。

開会式は、キャンプ場にて行い福原副実行委員長・
山田岳連理事長の挨拶、小林福山山岳会副会長が
注意事項を説明の後40人が2グループに分かれ、
「ふれ愛ランド」内の遊歩道を主に清掃を開始しま
した。清掃場所は、遊歩道といっても山あり谷ありと起
伏にとんだかなりハードなコースでありましたが、日頃よ
り鍛えた足腰の丈夫さ?にて年齢を感じることなく、全
員が俊敏な動きで整備を開始しました。遊歩道にはゴミ
等もなく良く整備されており、常日頃より管理が行き
届いている事が伺い知れます。大変に頭の下がる思
いです。

さて、清掃であります。散歩・ハイキングコースと
して利用している所で、草や枝が茂り歩きにくい所の刈
取り整備をしました。日頃のチームワークの良さで取組
んだこともあり、予定内にて終える事が出来ました。

この一汗も夜のビールを飲み、友と語らう前夜祭へ
のためだと互いに目で挨拶をしていました。



記録者：福山山岳会 会長 福原 不二雄

前夜祭

■参加人数：55名

▼プログラム状況

「山の日」前夜祭兼登山フェスティバルは、10月21
日(土)午後6時からキャンプ場広場で開催されました。
プログラムは前山岳連盟会長の種村さんを偲んでの
黙祷の後、キャンプファイヤーの点火で始まり、実行委
員会、岳連加盟各団体が自己紹介や出し物を披露し
ました。

東広島山の会からは「故郷ひろしま山の歌」が披
露され全員で合唱しました。また、地元の東部地区か
らの新市山岳会の鳴子を使つての新市音頭や福山
山岳会の自然保護をテーマとした寸劇は練習の成果
が伺え、会場を大いに盛り上げるものでした。

キャンプファイヤーの後は食堂に場を移し、東部地
区の心のこもった料理を肴にお酒を酌み交わしながら
の語らいが夜遅くまで続き、寒さも忘れる熱い交流会
になりました。



記録者：広島県山岳連盟 普及部 副部長 永津 信吉

山のグラウンドワーク

■参加人数：350名

▼プログラム状況

午前中は、作業をグループごとに10班に分け、広島県東部森林組合関係者の指導によりそれぞれ鎌や手ノコを使って里山の草刈や除伐などの手入れを行い、伐採した木は粉碎機に入れてチップにしたり、山中に等高線状に置いていきました。最後に松の苗木を植える作業をしました。参加者全員が指導や注意したことを守って作業をしてくださったので、ケガや事故もなく森をきれいにすることができました。

午後からは、同じく広島県東部森林組合関係者の指導により刈払機・チェーンソーの使い方や作業方法を説明していただき、興味をもった方の中には、使用する刃の事や機械について詳細に質問される人もいました。その後、各班に分かれて参加者が実際に機械を使用し草刈・枯れマツ等の木を切る体験をしていただきました。

家族で参加してくださった班もあり、子供さんたちにも楽しんで森の作業を体験していただきました。



記録者：広島県東部森林組合 佐藤 元則

森のネイチャーゲーム

■参加人数：20名

▼プログラム状況

頬をつたう風が爽やかな森の中、活動の始めはいくつかのヒントからその木の名前を推理しました。1つずつヒントを聞きながらわかった時点で鼻に人差し指を当てます。すぐにわかった人もいればかなり悩んでいた人も、意外に知らなかった樹木の性質や特徴に改めて感心する場面もありました。

それからグループに分かれて自然の宝ものが書かれたカードを使ってビンゴゲームを楽しみました。蝶、きのこ、ちくちくするもの、いい匂い、カラスの声、水の音など様々な感覚を十分に使っているいろいろな発見をしました。子どもたちの旺盛な好奇心や豊かな感性には大人も顔負けです。

最後は「カメラ」役と「写真家」がペアになって自然の中の美しい瞬間を心のフィルムに焼き付けてもらいました。森の中を写真家が目を閉じたままのカメラ役の人を誘導して自然の一瞬の美しさをとらえながら散策しました。

日常とは違った雰囲気の中、心と身体で自然を感じることでそれまで眠っていた感覚が目覚め、今まで感じていなかった草木や土の匂い、風の音などを感じるアンテナが芽生えてきたようです。だんだんと森に癒されてほころんでいく参加者の表情をつぶさに感じながら、ゆったりとした時間を過ごしました。



記録者：広島県ネイチャーゲーム協会 小笠原 康成

マイ箸工作(展示・ワークショップ)

■参加人数：多数

▼プログラム状況

当日は晴天で澄み切った秋空の下、芝生広場にて市民団体と環境に取り組む企業、16団体が参加して開催しました。イベント内容は、マイ箸とマイ箸袋作り、竹笛作りなどのワークショップ。ペレットストーブや薪ストーブ、水質浄化技術、スカイライトチューブ、携帯トイレ、生ごみ堆肥化技術など環境に優しい技術の紹介とパネル展示により各団体の活動内容も判り易く紹介をしました。古材利用家具の展示販売や地元産品(野菜・果物他)・竹炭の販売をしました。合間を利用したのスタードームの組立て・木こり体験・人形劇等の催物もあり、盛りだくさんの内容で来場者の満足度は100%であったと思います。



記録者：ごみ5R推進本舗 落合 真弓

野鳥の会等—探鳥・植物観察会

■参加人数：32名

▼プログラム状況

日本野鳥の会広島県支部としては初めての参加させていただき、「秋の渡り鳥とやってきたばかりの冬鳥を観察しよう」をテーマとして、探鳥会(野鳥観察会)を開催いたしました。

県東部地区の本会会員と、小学1年生から上は83歳までの一般参加者をお迎えし、本会場から周辺の遊歩道を約2時間で散策。

沢山の種類の野鳥に会えたとは言い難い状態でしたが、開始前から数百のヒヨドリが西方向に渡り去り、開始後は上空にアマツバメ、梢には北の国からやってきたばかりの「紋付鳥」ジョウビタキを観察する事ができました。

野鳥の居ない時間は、アカメガシワやイヌザンショウ、タラなど、野鳥が好む「実をつける植物」を味わい(?)、参加者全員で秋の里山散策を楽しみました。



記録者：日本野鳥の会 広島県支部

チップパー機による実演と展示

■参加人数：多数

▼プログラム状況

チップパー機による除伐木のチップ化は、その量の多さから間断なく作業がつづけられました。伐採された枝の中に、ハゼ?か何かカブレの木が混入していたらしく、翌日オペレーターの顔が真っ赤に腫れ上がってしまいました。参加者の中に同様の症状が出た人があるのではないかと、気にかかるようです。

本会の活動を紹介した展示では、炭化装置(炭焼窯)や製作された「いぶし竹工芸品」などに、多くの人が興味を示されました。



●チップパー稼動中



●パネル展示



●グリーンラインを愛する会の活動展示

記録者：グリーンラインを愛する会 事務局 前原 江美

古民家使用物の展示



●ぬまくま民家を大切にすの会の古民家使用物の展示

海の幸や地元産品の展示・販売



●若手漁師の会の海の幸の展示・販売



●さるかに共和国の地元産品の展示・販売

[東広島市サテライト会場] 憩いの森公園

全体

■参加人数：約1,000名

▼プログラム状況

午前7時30分憩いの森公園多目的広場は、前日あたりから低くなった気温と強い風で、秋冷の心地よい朝を迎えていました。

それが、あっという間に約500人が開会式に集まり、広場は参加者であふれ返っていました。当日の入園者は約1,500人で、その内約1,000人がそれぞれのプログラムに参加していただきました。昨年の反省をいかして駐車場には警備員を配置し、スタッフの車は広場に置いたのですが、閉園間際まで駐車場はあふれ返っていました。

開会式では、高下義彦副運営委員長の開会宣言、石井英太郎運営委員長による開会挨拶、西条ロータリークラブ及び東広島ロータリークラブから刈払い機の贈呈式、各プログラムと責任者紹介があり、つづいて「山に親しむ・山を楽しむ・山を学ぶ」をテーマに龍王山を管理している財団法人東光会の倉田理事による「山の日」宣言、締めくくりには、安全祈願セレモニーとして宮岡泰久運営委員の先導で「どんぐりコロコロ!」と全員で元気に声を出し、それぞれのプログラムに飛び出していきました。

前垣壽男実行委員長や事務局の主要メンバーがメイン会場の応援で不在のなか、各運営スタッフは、それぞれの経験を活かし、協力して行事を盛り上げてくれました。特に西条農業高校の高校生の元気いっぱいな働きにはずいぶん助けられました。感謝感謝です。

また、今回初めて山のグラウンドワークのプログラムに植樹が加わり、地元の造園建設業協会や(財)東光会の有志が指導者として、またみどりの少年団の子どもたちとその家族が参加していただき、地元地域に活動の環が広がってきたことを実感しました。

多々反省もありますが、今後は地元住民をもっと巻き込んで、団体・企業・行政・大学・高校と広がってきたこの環がさらに市民住民に広がっていくことを願う1日でした。



記録者：西条・山と水の環境機構 船本 昌義

山のグラウンドワーク(山の手入れ編)

■参加人数：約250名

▼プログラム状況

山のグラウンドワーク(山の手入れ)には、広大学生、パブコック日立兵、県労働者福祉協、シャープ東広島、中国電力エネルギー総研、東広島ロータリークラブ、憩いの森友の会、サポート・トレッキング・グループなど約230名が12班に分かれて、公園内の「ハナミズキ広場」の下方斜面を、手鋸を使って除伐を中心に森の整備を行った。薄暗かった森が見違えるように明るく気持ちのよい林に変身させることが出来た。除伐したものは近くにまとめておくだけで、林外へ運搬しなかったため作業が随分はかどった。

午後からは3団体が参加できなかったが、賀茂森林組合の方の奮闘でノコでは手に負えない樹の処理をたびたびお願いした。午後から西条農業高校の生徒も加わり、高校生たちは枝打ち梯子・高枝ノコを使って、「枝打ち」の体験を森林組合の指導で行った。

森の中に空き缶・空き瓶など随分古いものから新しいものまで沢山あることが分かり、予定にない清掃を行うことを提案して、みんなでゴミも集めた。午後2時30分予定した整備地区すべてを完了することができた。初めての参加者も「きれいになった」「はじめは思い通りにノコが使えなかったが、面白く作業ができた」など参加者も好評。



記録者：サポート・トレッキング・グループ 宮岡 泰久

山のグラウンドワーク(記念植樹編)

■参加人数：約120名

▼プログラム状況

記念植樹は、島靖英副運営委員長(西条・山と水の環境機構)をリーダーに、広場や平地をみどりの少年団(約60名・家族約20名)が、急なり面や山すそは、西条農業高校生(約20名)・日本山岳会広島支部(約10名)が、東広島造園建設業協会及び(財)東光会有志のご指導のもと『炭焼き広場周辺』でヤマツツジ・ヤマボウシ・ヤマザクラ・ヤマモモを計400本植えました。

当初、700本の苗でのり面を覆うことを計画しましたが、硬い岩や礫の混ざった地面や崩落防止用の金網などに阻まれ、広場の周囲の植樹になりました。作業のほうは、予定通り午前中に植え終わることができました。



記録者：西条・山と水の環境機構 船本 昌義

森のネイチャーゲーム

■参加人数：5名

▼プログラム状況

「みのりの広場」から「シンボル庭園」にかけて移動しながらネイチャーゲームを実施した。午前10時半から午後13時15分からの2回実施したが、参加者はとても少なかった。事前の独自PRが不足したことが最大の要因であろう。ただ、少人数だったため、とてもアットホームな活動となり、指導者・参加者ともに豊かな時間を過ごすことができた。内容は、自己紹介を兼ねた「動物交差点」というゲームを行い、そこから自然観察をゲームにした「フィールドビンゴ」をしながら移動し、みのりの広場で「森の美術館」、シンボル庭園の四阿で「パーティカルボエム」(午前中はカモフラージュ)を行った。



記録者：広島県ネイチャーゲーム協会(呉・東広島ネイチャーゲームの会) 浅野 敏久

自然観察会—半尾川の花崗岩・断層・植物

■参加人数：10数名

▼プログラム状況

公園を訪れる市民が、半尾川沿いの自然の不思議を楽しみながら散策されることを願って企画したが、参加者は10数人と少なく、必ずしも目的は果せなかったことが悔やまれる。

龍王山地域にはいろいろな“つらつき”(岩相)をした“みかげいし”が分布するが、とくに捕獲岩をもつ花崗岩には火成岩の妙に親しみを感じる。一方で、典型的な断層鏡肌が観察できる垂直な断層面と(写真)、それにともなう断層破砕帯の露出は、北北西—南南東に走る「左横ずれ」を示し、浸透した地下水が、西条市内に流れているかも?と考えさせられる。機会があれば、断層面に残された擦痕にさわって、里山の特徴的な植物相を楽しみながら、自然の力にふれてみられることをお勧めする。



記録者：東広島市自然観察会 沖村 雄二

木の実クラフト

■参加人数：多数

▼プログラム状況

来年はねずみ年に当たり、二百数十匹のネズミの合唱団をドングリで表現してみました。

「来年はおいらの年だ! 歓喜の歌声をあげる東広島ねずみの合唱団」(第20回東急ハンズ大賞入選作品)

そのほか、マツボックリやドングリなど、いろいろな木の実でつくったハリネズミや恐竜たちにギネスブック申請作品などを展示しました。



記録者：広島県森林インストラクター連絡協議会 宮本 寿美敏

森の野鳥を見よう!—野鳥観察会—

■参加人数：午前一般10名、会員12名 計22名
午後一般4名、会員11名 計15名

▼プログラム状況

午前、9時から受付開始。シジュウカラの巣箱やその写真も展示。オープニングセレモニーが始まる前に、カラス、トビ、モズ、ヒヨドリ、それにノスリを観察。10時半出発、総勢22名を2班に分け、それぞれ指導者が付く。ジョウビタキ、メジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、ウグイス、コゲラ、キジバト等を観察。12時帰着。

昼食中、オオタカが出来た。午後、13時40分出発、総勢15名、午前とは違うコースを歩く。ウグイスの地鳴きを聞いた一般参加者の母親は、留鳥とは知らなかったと驚かれた。アケビなど植物観察もしながら下山。モズ、トビ、メジロ、ヒヨドリ、ハシボソガラス等観察。15時帰着。



●会場でノスリの観察



記録者：東広島市の野鳥と自然に親しむ会 川崎 千代子

やま・もり・里山・ものづくり

■運営: ゆーもあファクトリー 木原 博和

▼プログラム状況

国産材を利用した木工品の展示販売と、除・間伐材等を利用した木工品の制作実演、及び参加者の制作指導。

制作物は、①ポストカード立て ②枝を利用したボールペンの制作。



地元特産品市

■運営: JA広島中央 西田 稔

▼プログラム状況

地元特産西条柿の販売と米づくりや食生活についてのパネル展示。



紹介します、西条農業高校

■運営: 広島県立西条農業高校

▼プログラム状況

学校生活やクラブ活動など農業高校ならではの活動を紹介。



山の手入れ道具・木工品の展示・販売

■運営: 賀茂地方森林組合

▼プログラム状況

森の道具屋さん(山の手入れ道具の展示販売)や、木工品の展示で、水車小屋のミニチュアを展示。



[廿日市市サテライト会場] もみのき森林公園

全体

■参加人数: 3,500名

▼プログラム状況

雲ひとつなく晴れ渡った秋空のもと、午前10時、プラスアンサンプル「絆」5人のトランペットによるファンファーレが西中国山地の山並みに響き渡り、大久保副実行委員長(阿品の森サポータークラブ会長)が、力強く「山の日」宣言を行った。

続き、大西運営委員長(広島県森林インストラクター連絡協議会会長)がはるかへのぞめる吉和冠山を指して、この山頂付近の森から生まれた水が太田川となり谷あいをうねり、人里を流れ、広島湾に注ぐまでの間で人々をはじめ、多くの動植物を育むことを例にあげ森を育てることの大切さを訴えて開会の挨拶をした。

開会式のあと、参列した参加者の殆どは、この日のメインプログラムである「やってみよう森のボランティア」に向けて現場に向かった。

開会式と同時に開店した公園センター前のテント村では、様々なプログラムごとのブースに参加者が集り、展示や販売品を扱うコーナーでは、家族連れが品物を手にし、店員とやり取りしながら目当てのものを買い求めている。

この日、行われたプログラムは、イベントテーマ「森を習おう・森と遊ぼう・森をつくろう」に沿い「森の保全活動」「森のコンサート」「自然観察会」「森のクラフト教室」「森のネイチャーゲーム」「わくわくロケット教室」「もちまき」「クラフトフェスタと陶芸体験」「森の味覚市」「林業・農業器具展示販売」「森のウォーキング」「アスレチックコース無料開放」など、恒例の「森のフェスティバル」と合体させただけに盛りだくさん。

前日とは違って変わった暖かな日差しの中で、はるか遠くまで見渡せる西中国山地の山々を背景に、鮮やかに色づき始めた紅葉に感動の声をあげた、多くの家族連れや貸し切りバスで乗りつけた団体客も交え、大いに歩き、体験し、時に芝生に寝転んで小鳥のさえずりを楽しみ、森と遊ぶ秋の1日を過ごした。



記録者: 広島県森林インストラクター連絡協議会 江川 和輔

冠山登山道の整備

■参加人数: 54名

▼プログラム状況

潮原登山口の広兼産業の駐車場に、参加者が続々と集まる。廿日市市観光協会吉和支部・阿品の森サポータークラブ・広島県森林インストラクター連絡協議会・広島県山岳連盟、合わせて54名が参加した。事務局の平本さんの指示で班編成後、挨拶と注意事項を受けて出発。今日は基本的に5つの橋を架け替え、5号橋手前の登山道を整備する計画だ。

9月に架け替え用の木材を切って下準備が済んでいたため、今回は6班に分かれて、準備された木の皮剥き、橋の架け替えと登山道整備が主な作業で、途中休憩を挟みながら行なった。

当日は肌寒い日で余り汗をかかず、作業をするには絶好の気候だった。特に5号橋手前は足場が悪いので、橋の架け替えと共に登山道整備も行ない、増水時にも安全に登れる登山道が出来た。大人数で取り組んだおかげで、怪我もなく小1時間早く作業が終了し、潮原温泉に入りさっぱりして帰宅した。今後の吉和冠山への登山が楽しみである。



記録者: 広島県山岳連盟 理事・普及部長 野島 信隆

やってみよう森のボランティア

■参加人数：150名

▼プログラム状況

森の保全活動体験プログラムには、昨年に続き大勢で参加した鉄鋼商社メタルワン社関係企業の社員、廿日市・大竹地区の労福協組合員、県岳連に加え、初参加のJAF会員10名が、森林ボランティア団体会員の指導を受け、もみのき森林公園内の6箇所の森で除伐・下枝刈り・下草刈り・伐採木の玉伐り、集積の作業を行った。

参加した若い女性の中には、初めてノコを使う人もあり、森林ボランティアの丁寧な指導を受けて、伐倒に挑戦し旨くできたときは歓声を上げていた。

家族連れで参加した一家では、お父さんが子供にノコの引き方を教え、一生懸命がんばるわが子を応援する風景があちこちで見受けられた。



●開会式 班別に集合



●作業風景 手を切らないように！



●支えてるから大丈夫

記録者：広島県森林インストラクター連絡協議会 江川 和晴

自然観察会

■参加人数：61名

▼プログラム状況

ひろしま「山の日」の自然観察会は、広島自然観察会の10月定例観察会と併せての実施で、小室井山コース(一日コース)と公園内のバリアフリーAコース(午前・午後の2回)の二つを実施。それぞれに自然観察指導員が引率して公園センター前を午前10時30分に出発。参加者には、観察・体験を記録する9升のシート、カエデの仲間の見分け方の検索表、もみのき森林公園ガイドマップを配布。小室井山コースの頂上着は12時30分。バリアフリーコースもショートカットして2時間弱で切りあげです。

木々の紅葉は遅れているものの、五感を使って西中国山地の秋を満喫の観察会でした。



記録者：広島県自然観察指導員連絡会 六重部 篤志

森のネイチャーゲーム

■参加人数：47名

▼プログラム状況

当日は天候に恵まれ、ネイチャーゲームへの参加者も昨年と同数となり、穏やかな一日を過ごすことができました。開会式後、参加者の出足も遅く、訪れた家族の姿も少なかったため、11時まで参加者を募り、開始した。

プログラムは、「わらしべウォーク」、「ジャンケン落ち葉集め」により、紅葉し始めた落ち葉や花など、秋を感じる植物を発見してもらうとともに、色や形の特徴など見ながら「もみのき森林公園」内の樹木に関心をもって散策してもらうよう実施しました。

参加者は、一枚の葉っぱでも色がいろいろあることなど関心しながらネイチャーゲームに参加していました。また、周りの自然への見方も変わったようです。ネイチャーゲームが終わっても葉っぱを拾ったりしながら親子で会話が弾んでいました。



●ジャンケン落ち葉集め



●わらしべウォーク



記録者：広島県ネイチャーゲーム協会 秋山 浩三

わくわくロケット教室

■参加人数：40名

▼プログラム状況

「ペットボトルが飛ぶの？」おしゃべりする子供はいません。切り取ったり、貼ったり一生懸命に作った。最後に発射台留めを付けてあげると、小高い丘に登りきった所にある発射場所へどの子どもも駆け上がっていった。水を注ぎ入れ、空気注ぎで圧縮すると発車のスイッチを構えた子どもは真剣そのもの。周りの仲間にも掛け声をかけてもらい「3・2・1・発車！」(スイッチオン)。

ロケットが青空へ40～50Mも空高く飛んでいった。ロケットを眺める子どもの嬉しそうだったこと。作って遊べるこのコーナーはどの子どもも夢中にさせ、時間延長して噴射遊びを楽しんだ。お礼の言葉を言うと、皆ロケットを大事そうに抱えて帰っていった。



記録者：広島県森林インストラクター 伊藤 慶子

森のクラフト教室

■参加人数：28名

▼プログラム状況

クラフトは下降するキツツキをメインテーマにし、チョウの羽にルナリヤの実を利用した可憐な作品を新出展しました。

キツツキは昨年、多くの人が製作に参加していただき好評だったのでメインテーマに掲げたのですが、14人の参加者に止まり、2匹目のドジョウとなりませんでした。

チョウの方は、開会式が終わった午前10時30分ごろから製作する参加者があり、以後、午後3時の閉店まで、製作者は途絶えることがなく、14人の児童が製作に参加していただきました。

チョウの羽が薄く、接着では低学年の児童には難しい面もありましたが、小3男子のガンバリッ子は、父兄の支援も受けず完成させ、周囲からは拍手喝采。達成感と嬉しそうな表情が印象的でした。



記録者：広島県森林インストラクター連絡協議会 重森 春三

陶芸体験・植物画の展示

■参加人数：多数

▼プログラム状況

クラフト陶芸作家による作品展示と販売。

植物画の展示や絵手紙教室や自然に関するクイズなど人気があった。



森のウォーキング

■参加人数：41名

▼プログラム状況

「第6回ひろしま「山の日」県民の集いINはつかいち」のウォーキングに参加してあらためて森の素晴らしさを感じる半日であった。

このところこの地区でもウォーキングが盛んで、もみのきでも今日のもみのきコースウォーキングに始まり、27日は高崎王冠山と紅葉ウォーキング、28日は瀬戸の滝と小室井山トレッキングの、紅葉の秋を満喫散策する楽しいコースが企画されている。またお隣の安芸太田町でも定例のウォーキングが行われていることもあって、例年より参加者は41人と少なかった。

ウォーキングは、開会式の頑張れコール「どんぐりころころ」の三唱と共に始まりである。例によって玉川真弓健康運動指導士の準備運動を済ませスタート。

今年の特徴は参加者の8割は子ども会参加者である。何時もの健康ウォーキングとは少し趣を異にして、速度を落とし「どんぐりころころ、どんぶりっ」と唄いながら、途中でどんぐりを拾ったり、赤い木の実を取ったりしてのウォーキングだから楽しいことこの上ない。中でも4歳の子どもが6.15キロを完歩するのだから驚きである。

今年は温暖化の影響なのか例年よりもこうよう紅葉が遅く、最高地点(標高965m)でも栗、くぬぎ、けやきなどもまだ緑の装いで、ゴール地点のすすきの美しい草原と対比すると、

秋は少しずつ深まってくる様子がよく分かる。このところの朝夕の冷え込みは厳しくもう二十日もすると山の装いは落葉樹特有の紅葉に変わり、頂上から確実に冬に向けて足早にウォークしてくるのである。



記録者：梅田 一磨

森のコンサート

■参加人数：観客多数

▼プログラム状況

澄み切った青空の下で管楽器の演奏
プラスアンサンブル「絆」の演奏

午前11:00～ 午後2:00～

ピアノ&ギター「オレンジブルー」の演奏
午後1:00～



もちまき

■参加人数：多数

▼プログラム状況

毎年恒例のもちまき、公園内のどこに隠れていたのやらと思うくらいの手となる。素手で取るもの、帽子を利用して取るもの関係者も参加してのにぎやかなイベントになった。

みんな、もちや菓子をつかむのに一生懸命。

もちは、テラスの上から3名でのもちまき、もちを取る人と目が合うとどうしてもそこになげってしまう?



林業・農業器具の展示販売

■参加人数：多数

▼プログラム状況

山の手入れに必要な道具の展示販売。
特価価格表示よりさらに値引き有り。
交渉次第で希望の予算になるかも?



森の味覚市

■参加人数：多数

▼プログラム状況

地元の取れたての野菜を販売、田舎寿司なども販売。全て完売。

きのこ(アワビタケ・マイタケなど)や肉の串焼きなど販売し好評を得る!

マイタケは、地元で取れたマイタケを培養して育てたものを販売。



全体

■参加人数：2,400名

▼プログラム状況

朝6時に自宅を出て、車のラジオをつけると、今朝はこの秋一番の冷え込みとのこと。太田川放水路を通過中には、上空を100羽以上の鳥が一団となって南から北へ、飛行中。

また、RCCラジオから、「ちょっと森の話」というタイトルで間伐の大切さをうたった放送が流れ、今日の「山の日」との縁を感じた。

広島市森林公園会場は「森の恵みと森林づくり」のテーマのもと、参加団体数14、プログラム数8を実施し、森林ボランティア等70人が指導等をおこなった。

開会は9時からで、見勢井運営委員長(もりメイト倶楽部Hiroshima会長)が、山や森の大切さを理解し行動する人の輪を拡げていくとの「山の日」宣言をした。

秋晴れの中、多くのファミリーが参加し、それぞれのプログラムを、楽しみ、互いに協力し、学び、親しみ、食し、この「山の日」を満喫されていた。

「森の恵みと森林づくり」ということで「森の市」を今回初めて開催した。間伐等森の手入れを通して発生した木製品・林産物等の展示・販売や森林ボランティアや森林組合の活動紹介である。また、銘木の「セリ」を専門の方にいただき、参加者に関心を高めていただいた。「森の市」は今回初めてということで出展や販売をされた各団体の皆さんには品物の製作や確保等いろんな面でご苦勞をおかけしたと思っております。

各プログラムは、怪我人等もなく、指導者の方々の手際の良い運営で、予定どおり15時に終了できた。

この後、皆で片づけをし、解散式は16時から森林ボランティア等50人が参加し、桑原副運営委員長(フォレストクラブ森守会長)が「皆さんの協力のもと、開催でき、ご苦勞様でした。」のねぎらいの挨拶をされた。

アンケートでは、今後も「山の日」のような森林づくりに繋がるイベントに参加したいとの声が多くありました。



記録者：事務局長 山崎 弘身

モミジの森をつくろう

■参加人数：31名

▼プログラム状況

山の日にちなみ、市民の方々にモミジの苗木(品種：ヤマモミジ、樹高2.5m程度)を植樹していただき、将来的にモミジの森をつくっていこうというものである。当日は好天に恵まれて、参加者の集まりも良くスケジュールどおり、午前9時より開始し予定どおり終了することができた。参加者の殆どの方は今回初めての体験でフォレストクラブ森守のスタッフの方々に手伝ってもらいながら植樹をし、皆さんこの企画に大変満足されていた。

なお、フォレストクラブ森守の方々のご協力により、事故もなく無事終了した。



記録者：広島市森林公園 野上 央

親子でベンチを作ろう

■参加人数：169名

▼プログラム状況

我が倶楽部は部会が4つあるため、例会日は毎月第4日曜日に固定しているが、「山の日」のため例会日を変更。37名が参加して関係する3つのイベント対応をした。

間伐材を有効利用するための「ベンチづくり」には23名が対応。午前・午後それぞれ25組のお客さんに2千円の参加費で2脚のベンチを作製していただき、1脚を持ち帰り、1脚は保育園等に寄贈して頂くというもの。昨年の申し込み状況と比べると少しペースでしたがお陰さまで完売でき169名の参加者がありました。電動ドリルなどの工具を用いて組み立てる作業を親子がそれぞれ分担したり、子ども中心であったりと各家庭毎に楽しみながら作業をしておられました。



記録者：もりメイト倶楽部Hiroshima 見勢井 誠

森と昆虫—カブトムシを育てよう—

■参加人数：106名

▼プログラム状況

森林の中でのカブトムシやクワガタムシの生態学的な役割やその生活の様子を説明したあと、飼育器具、幼虫の糞、腐葉土やくぬぎマットなどの実物に触れてもらいながら、カブトムシの幼虫の飼育方法を解説した。参加者は非常に熱心で、飼いかたについてたくさんの質問が出た。最後に希望者には実費で生きた幼虫を配布したが、全員が幼虫を持ち帰った。今後、カブトムシの飼育で困ったことがあったら、昆虫館に直接電話かメールで問い合わせてもらおうことになっている。



記録者：広島市森林公園 金本 秀之

木の葉さがしゲーム

■参加人数：94名

▼プログラム状況

芝生広場周辺で開催された木の葉ゲームの参加者は受付で説明を聞いた後、問題用紙(解答欄含む)を受取り、問題の木の葉を見つけその木の名前を解答欄へ記入するゲームだったが不安そうな顔又は家族でワイワイしながらでのスタートだった。

問題の写真を見ながら、「これ、しらかし・あらかし? どちらかな」と相談しながら解答欄へ記入していた。解答用紙を提出後、全問正解の家族は「やったー」と喜び、間違った家族(子ども)はスタッフの説明を聞きながら正解の木へと案内を受け納得しながら再度受付へと戻ってきていた。

参加賞として、木の葉(もみじ・なんきんはぜ等)をラミネートした賞状を記念に受け取り満足そうな顔をして他会場へと向かった。



●説明を聞きながら問題用紙をもらう



●間違った樹木名の説明を聞き、「なっとく」



●参加賞の賞状をもらい満足そう!

記録者：広島市森林公園 渡辺 鋭明

森のネイチャーゲーム

■参加人数：25名

▼プログラム状況

参加者は、小さい子どもの家族連れが中心であった。ほとんどの参加者がネイチャーゲーム初体験ということで興味深そうに活動していた。「カモフラージュ」では、見通しのよい斜面を利用して隠してある人工物を探していった。保護色でなかなか見つからないことで注意深く探していた。互いに「何個見つけた?」などと楽しんでいった様子うかがえた。

「めざせ名探偵」では、木の葉や幹の様子・周りの様子などの手がかりから一本の木を見つけにいった。近くに似たような木が数本あり最後まで決めかねていた。「タネをとばそう」では、まつぼっくりについてのクイズをした後、アルソミラのタネの模型を作って飛ばして楽しんだ。



●カモフラージュ



●めざせ名探偵

記録者：広島県ネイチャーゲーム協会 表田 啓太郎

紙ヒコーキを飛ばそう!

■参加人数：256名

▼プログラム状況

今回の「山の日」県民の集いは、県下7カ所の会場で開催されたのであります。

参加者10,000人を目標におじさん達は、5月より県庁にて委員会を重ね!...いよいよ当日を迎えたのでありませう。

唯一の助手とおじさんは、朝8:00スタート! イベント日和の快晴で、山の緑・芝生の緑が眩しくて...!! 現地に着くと早や! 多くの参加者が...!!

開会宣言! 式典挨拶...の途中から子供たちは「おじさん! 紙ヒコーキを!!」と楽しい... (いやいや? 忙しい!) 一日が始まったのでありませう

サテライト会場 実行委員長の挨拶で、いよいよ「山の日」県民の集い!...が開催となったのであります。子どもたち...「どこを折るの?・どこまで? 待って~! はさみを! ホッチキスを...と忙しく!!

午後の部は2倍の参加者に!! “引っ張りだこ”のおじさんと唯一の助手が...

我々だけでは、間に合わず、大会本部に応援を...!!

「予選 → 敗者復活戦 → 決勝戦」決勝進出者は、1名ずつストップウォッチにて滞空時間を計測!...。1~3位まで表彰+賞品を...!! 大喜びの子供たちが...!! それにしても忙しい一日でした!! 参加者の皆さんありがとうございました。



記録者：広島紙ヒコーキを飛ばそう会 中野 侃

ひろしま「森の市」

■参加人数：多数

▼プログラム状況

市民が森林づくりに興味を持ち、「森林との関わりを知る」機会を提供するため、今回初めてひろしま「森の市」を行った。

内容としては、森林組合や森林ボランティア団体の活動紹介や間伐材ベンチ、テーブル等の木製品、生シイタケ等の森林特産物の展示・販売等、6つのブースに分けて行った。

特にドングリ等を使ったクラフト教室は小さな子どもで賑わい、用意した材料がなくなる程の人気となった。

また、専門家による銘木のせり市は「森の市」を盛り上げるのに効果が大きく楽しい催しとなった。



記録者：市民参加の森林づくり実行委員会 烏田 幸生

ふっくら石焼きいもと旬の果物

■参加人数：多数

▼プログラム状況

当日は天候もよく家族連れの方が多く、非常に賑わっておりました。

生協ひろしまでは、石焼きいも・西条柿・早生ふじ・大崎上島極早生みかん・フィリピンバナナを販売しました。

会場に食べ物を販売している所が少なかった影響もあり、石焼きいもは待ちが出るくらいのもので、用意した225本完売しました。一度買われたお客様が「おいしかった」と言われ、もう一度並んで買っていただいた方も多く、味の方でも満足いただけたのではと思います。

果物の販売では、去年は県内産の商品が1種類だけだったのを、今年は西条柿・大崎上島極早生みかんと2種類の県内産の果物を用意し、また販売数量を増やしましたがほとんど完売し大盛況でした。

このようなイベントを通して、多くの方が山や木々に触れ合う事で、自然を学び自然の大切さを理解し行動する人の輪が少しでも広がってほしいと思います。

ありがとうございました。



記録者：生協ひろしま 上本 真稔

【広島市サテライト会場】

広島県緑化センター

全体

■参加人数：1,260名

▼プログラム状況

秋晴れの好天に恵まれ第6回「山の日」県民の集いを広島市会場広島県緑化センターで、15団体の協力を受けて開催することが出来ました。山のグランドワークでは「整備と散策マツタケ山」と「さくらの森で記念植樹と施肥作業」を行いました。当初50名と30名の計80名予定しておりましたが、広島県労働者福祉協議会より95名の参加を受け、山岳会白木愛山会やダイードリンコ、オイスカや府中町よりの協力に一般参加も加わって約170名の参加で大成功でした。

また、体験コーナーでは、10団体の参加協力を受け、参加頂いた皆様に大変喜んで頂くことが出来ました。それに野村 孝久氏によるバルーンアート大道芸、藤田 眞氏による森のコンサート、狩留家朝市による朝採り野菜や地元加工品の販売、林業技術センターより端材の提供を受け無料配布を行ったり、また府中町の女性により豚汁の作成販売の協力を頂きました。それにマツタケ弁当販売、おむすび、ジュース販売、餅まきや飾花の無料配布等々多彩な趣向を凝らして行いました。

地元や近隣のお祭りなどにも関わらず、1,260名もの参加を頂くことが出来、事故もなく実施出来たことに感謝でいっぱいでした。それに事前準備から終了後の作業迄ご協力頂きましたボランティアの皆様にも厚くお礼申し上げます。



記録者：広島県緑化センター 廣瀬 健

整備と散策マツタケ山

■参加人数：130名

▼プログラム状況

広島県労働者福祉協議会の95人と、一般参加者を含め約130人でレストハウス上の松林の整備を10班に分け実施しました。多目的広場で、最初に川上先生にマツタケがどういった環境の所で生えるのかの説明と、整備の仕方を聞き、ヘルメット、手袋、手ノコと装備を固め現場に向かった。

何気なく見ている山に、倒木や倒れかかった木が沢山あり、山の荒れている事を実感する。

お孫さんにマツタケの探し方、手ノコの使い方を教えている高齢の方もおられ、和やかな内に40分間の作業を行った。多人数のため、短時間で目的のエリアの整備が終了出来ました。

作業終了後は山を散策し、キノコ採取をされる方、作業終了後、下山された方と2グループに分かれましたが、12時過ぎには全員が下山、怪我をされた方もなく、整備と散策マツタケ山のイベントが終了出来ました。参加頂きました皆様ご苦労様でした。有難うございました。



記録者：ふれあい湧(ワーク) 田村 昌嗣

サクラの森の記念植樹と施肥作業

■参加人数：約40名

▼プログラム状況

広島県緑化センター会場で、山のランドワークの1つ「さくらの森の記念植樹と施肥作業」を担当しました。多目的広場で9時ごろから受付をし、開会式の後集合して記念写真を撮りさくらの森に移動して実施しました。参加者は約40名。当初30名程度予定しておりましたが、前日までに参加申し込みは山岳会の白木愛山会6名とダイードリンクの4名にオイスカの3名でしたが、当日は府中町から数名に一般参加者も交え、家族連れで来た小学生から60代迄の幅広い年代が参加された。若い人が多かったのも目につきました。

作業は、有志10人が天皇陛下御下賜金によるオオシマザクラ10本の記念植栽。腐葉土を施して事前に準備した植え床にスコップで穴を掘り、大きく育てと言う気持ちを込めて丹念に植え付けました。その途中で40cm位の穴を掘り、天皇陛下御下賜金記念樹の碑を立てました。

その後、参加者はそれぞれがさくらの森に分け入り、今まで植えて来た200本のヤマザクラの周囲に固形肥料を施していきました。さくらの森は谷筋を挟んで両側の斜面を持ちエリアもかなり広い森ですが、参加者たちは、斜面に踏み入りながら、ヤマザクラの植栽を探しながら作業をしました。初めて参加したという人は「天気も良かったので、汗びっしょりになった。山の仕事は大変なのだと思ったが、良い経験をさせてもらった」と満足そうに感想を語ってくれました。

思い出に残る記念植樹で、良い汗をかいた楽しい一日でした。



記録者：グリーンさくら会 松本 憲三

森のネイチャーゲーム

■参加人数：24名

▼プログラム状況

好天に恵まれた「集いの広場」でネイチャーゲームを実施した。午前中は随時申込を受け、「フィールドビンゴ」「森からの贈り物」を中心にアクティビティを行った。小さい子どもとその家族が中心であったが、赤く染まった紅葉・蜘蛛の巣にかかった小さな虫・ドングリ・ギンモクセイの花・・・秋を感じるものを公園の周囲の自然から見つけていた。シェアリング(振り返り)では、「楽しかった」「こんなところに花が咲いていてビックリした」などの感想が聞かれた。

午後からは、申し込み時間帯を指定し「落ち葉のカルタ取り」「カモフラージュ」の2種類を実施した。4、5歳程度の元気のいい子供達も、落ち葉を楽しく取り合った。シェアリングでは、「同じような葉だけど少し形が違う」「色もちょっと違う」など感性が研がれていく様子を感じられた。「カモフラージュ」では、茂みに隠れた人工物を捜して親も子供達も悪戦苦闘した。シェアリングで見せた絵本「虫のかくれんぼ」(海野和男福音館書店)には子供達が群がって見入っていた。

来年は、スタッフを多くして多様なネイチャーゲームを用意したいと感じた。



記録者：広島ネイチャーゲームの会 三好 和弘

秋のキノコ教室

■参加人数：多数

▼プログラム状況

「山の日」県民の集いに合わせて、緑化センターの研修会「秋のキノコ教室」を開催しました。

当日は、秋晴れで気持ち良い気候でしたが、今年は残暑が長く続いたうえ、10月の降雨量も少なく、キノコが少ないのではないかと声もある中での開催でした。

10時に第3駐車場へ集合した後、園内を散策し、キノコの採集を行いました。その後、メイン会場である多目的広場に持ち寄り、先生による鑑定が行われました。54名の方が参加されて、不明なキノコを除くと91種類のキノコが同定されました。

食べられるキノコや毒キノコの説明、似ているため間違いやすいキノコの説明などが、行われました。本を片手に先生の話に耳を傾けている人の中に子供さんも数名おられ、その熱心さに頭が下がる思いでした。また、気温が高い時期が続いたためか、夏に発生するキノコなども確認されました。

「山の日」県民の集いを通じて緑や自然に触れることで、素晴らしさや大切さを実感して頂けたのではないのでしょうか。



記録者：広島県緑化センター 小田 芳生

まき割り体験・竹細工教室

■参加人数：多数

▼プログラム状況

第6回ひろしま「山の日」県民の集いに、竹細工教室、まき割り体験で参加しました。

竹細工教室では、竹下駄を作ってもらうことになって、孟宗竹の切り出しから竹を30cm位に切って、二つに割って、四隅を削ったり、鼻緒の穴あけ、鼻緒の紐作り等を皆で数日間費やして準備して参加した。教室に来られた方々には鼻緒の取り付けをもらえば完成です。お年寄りから若い人、子供さんが実際に作った竹下駄の感触を体験され、初めて下駄をはいた人や懐かしかった人が「足の感触が良い」、「竹踏みのように健康によさそうだ」、草履と間違えた人等々多くの方が興味をもって下駄を作って帰られました。

外国人の方で家族で参加されたお子さんは特に興味をもち下駄を作り履いて、バランスを取りながらも下駄の感触を楽しんでおられたのは印象的でした。用意した材料もほとんど無くなり盛況のうち終了しました。

まき割り体験は、松の倒木を40cm位に玉切りしたものを数十個準備して参加しました。子供づれの方が多く、初体験の方や、日頃のうっ憤を晴らされた方、なかなか割れなくて悪戦苦闘された方、割ったまきを持って帰られた方等、多くの人に喜んで頂きました。小さなお子さんもお父さんに手伝ってもらい、まきが割れた喜びで二度三度と挑戦していたお子さんもいました。お父さん、お母さん方は思い切り斧を振り降ろしておられたので日頃のうさ晴らしでは・・・など思っていました。当日は多くの方々に参加して頂き感謝、感謝でした。



記録者：ふれあい湧(ワーク) 今田 征夫

親子で遊べるドングリ工作

■参加人数：約80名

▼プログラム状況

朝から曇りつつない青空で「絶好の親子ドングリ工作日和」となりました。

予定通り10時より開会式が行われ、正本副実行委員長（広島県緑化センター管理責任者）の挨拶がでました。我がドングリ工作教室は、続々と参加者が集まり最終的に約80名の参加を頂きました。今年は、完成度の高い作品が多く、また主役がドングリ以外の作品もありました。

うれしい事に、親子連れの参加者だけでなく大人の方の単独参加もありました。

作品が完成し、越智副会長から表彰状を受け取り、記念撮影では皆さん満足そうでした。

その他のブースも閉会時刻までたくさんの来場者でいっぱいでした。14時30分、山の日を祝して餅まきが行われました。続いて閉会式となり、廣瀬運営委員長の挨拶の後、無事全てのイベントが終了、花の苗が配布され散会されました。



記録者：愛する熱帯多雨林のために再生紙で名刺を作る会 山口 剛

地元の朝採り野菜の販売

■参加人数：多数

▼プログラム状況

今回も出展依頼を受けて、地元の方が作った野菜類やイチジク、お餅、ジャム、漬物に卵等々出させて頂きましたが、新鮮で安いとのことで早い時間から売れ行きも良くほとんど完売でした。毎週土曜日狩留家で土曜朝市を開いており、皆さんにもなじみになって頂いておるようです。

次回もぜひ参加させて頂きたいと思っております。どうぞ有難うございました。



記録者：狩留家朝市代表 百目 正美

親子で挑戦しよう！丸太切り

■参加人数：75名

▼プログラム状況

好天に恵まれた会場で、5セットの丸太を用意して10時30分より受付をし丸太切りを始めました。大き目の丸太や小さい丸太を用意しておりましたが、子供さん達は大きい丸太に挑戦して苦戦していたり、わりとスムーズに切って得意げな様子など、また、二度も挑戦する元気な子供さんもいてにぎわいました。切った栓は大変良い香りがするため持ち帰って風呂にいれるとか、置き台にするとかでした。

大人の人もけっこう頑張っておられ楽しい一日でした。今回は来園者も例年より少なかった様で、75名の参加でした。



記録者：広島県グリーンサポート連絡会 森本 利明

宝探しラリー

■参加人数：75名

▼プログラム状況

今年はいじめて実施しました。最初子供さんだけで実施する予定でしたが、子供さんが少なかったため、大人の人も参加頂きました。開始時間が1時40分からであったこともあり75名の参加にとどまりました。第1会場は管理事務所上の苗畑の前で縫いぐるみを並べて輪投げてゲットして頂く方法でしたが、一回でゲットできる人は少なかったようです。3回の輪投げでやっとの人など色々でした。

また、第2会場は学習館の前で、くじを引いて頂きくじに書いてある商品を持ち帰っていただきました。参加された方には喜んで頂いたようでしたが、200名の参加を予定しておりましたので、少し残念でした。もし今度行う場合は、午前中から行う方が良いのではと反省しました。



記録者：広島県グリーンサポート連絡会 前山 敏彦

プランター寄せ植え教室

■参加人数：20名

▼プログラム状況

いつも人気があるため、今回も参加することになりました。10時40分開始で20名の受付でしたが、直ぐに満席になり、午後にもあるため参加頂くようお願いする具合でした。作り方を説明しながら1時間30分位で、完成品が出来ると皆さん大変喜ばれており、肥料のやり方や手入れについても良く説明したので、持ち帰って大事に育てて頂けると確信できました。好評の内に終了出来、出展者としても嬉しい一日でした。



記録者：みずえ緑地(株) 正本 大

ペットボトルで花栽培

■参加人数：多数

▼プログラム状況

快晴の秋空の下でペットボトルを再生して、自動給水で花を育てるブースを受け持ち、指導販売を致しました。今回は例年に無く来場者が少なく、立ち寄って頂くお客さんも少なく淋しいかぎりでした。その中であって関心度合いは、ことのほかアイデアに共鳴頂き、感心し注目頂きました。

今回は、志向をちょっと変えてイチゴのみを植えて提案してみました。販売数は20個あまりでした。商品紹介をするについて色付いたイチゴを飾り付けして見せれば引き立つのではと反省するところです。販売価格も抑え、セット花付き¥500、単品三つ又セット¥350、で紹介いたしました。次回も開催されるのでしたら開催時期を変更されたらと感じました。



記録者：ふれあい湧(ワーク) 川崎 誠治

自然観察教室

■参加人数：多数

▼プログラム状況

秋の晴天にも恵まれてあちこちでお祭りや運動会も開催される中、1,000名を越える盛会であった。その中で自然観察教室もその一部門に加わり参加者を待つことになり、10名ばかりの参加者があり、早速紅葉の始まった園内を案内する。

参加者の中にはかなり良く観察する人もあり、まず会場周辺のドングリの違いについてコナラ、クヌギ、マテバシイ、スダジイを紹介し、センター池の周辺で真っ赤に色づいたアキグミが見つかり味実をもらったところ色々の意見がありびっくりした。

本館周りでは色づき始めたカリン、エンジュの果実の紹介、県の天然記念物に指定されているマルバノキ(ベニマンサク)が紅葉を始めており珍しい花も見つかりびっくりされていた。続いて十月桜が満開になっていたのをこれを紹介したあとピラカンサ(トキワサンザシ)やウメモドキ、アケビ、ムベ等の色づき始めた木の実を紹介して、短い時間だったが楽しんで頂いた。

記録者：広島県緑化センター 清藤 徹

紙粘土体験教室

■参加人数：多数

▼プログラム状況

当日は、天気も良く気持ちのいい一日でした。地元や地域でのイベントが多く参加者がとても少なかったのですが、参加して下さった方、お父さんと子供さん、お母さんと子供さんと楽しくバラの花のスタンドを作って下さいました。やり始めは粘土の柔らかさにビックリされていましたが、いろんな色を自由に作れる事や組み重ねてバラの花に成る事に、大変喜んでおられました。今度は動物とか魚とか色々な物にチャレンジして、またのイベントを楽しみにして頂けたらと思います。

役をされた方には、大変お世話になり有り難うございました。今後とも宜しくお願い致します。



記録者：モーモーアート 小田みやこ

全体

■参加人数：1,800名

▼プログラム状況

三原会場は、平成18年(昨年)皇太子殿下のご臨席の下、全国育樹祭が開催された県立中央森林公園の運動広場です。開催するに当たっては、「山の日」を国民の祝日に制定することを最終目標に掲げ、「山に親しむ、山を楽しむ、山に学ぶ」を広島県下合わせて7会場の共通テーマのもと4回の実行委員会(33名)で検討を重ね実施しました。

三原会場の特徴は、東は近畿から西は九州地域までの自転車競技選手やその家族など幅広い地域からの参加があったこと、また、広島空港を中心に開催されたひろしま「空の日」2007ふれあい秋まつり(参加者規模23,000人)とも連携し両方の会場をシャトルバスで結び、一体的なイベントとして取組んだことです。この結果、当日の参加が大幅に増えて約1,800名の参加でした。

開会前のプロローグでは「バイクトライアル」の自転車の曲芸を楽しみました。式典は10時に開会を宣言し、続いて副実行委員長の前田三原経済部長の挨拶、そして来賓の播磨碩人三原副市長から祝辞をいただき、更に6名の来賓の方をご紹介しました。羽和泉小学校緑の少年団の木城君、東谷さんが「山の日宣言」を力強く宣言して幕を開けました。

メインの行事は、参加者に森林や山への親しみを深めてもらう体験活動の「里山の手入れ」です。森林組合やNPO法人「森のおさるさん」の指導で約500人が10班(内自転車競技関係者3班)に分かれて草刈と施肥に挑戦しました。

ほかには、体験コーナー(きのこ鑑定山歩き会、森のネイチャーゲーム、炭焼き体験コーナー、親子クラフト体験コース、親子木工教室、竹の筆づくりと書道教室、丸太切り大会)が開かれました。出展コーナー(フリーマーケット、地産地消・森の味覚市)では「食べ物」の出店もあり色採りを添えました。また、子馬のポニー広場では触れることができるし乗馬が楽しめ子供たちに大人気でした。

昼からの「森のコンサート」は、一般の方々も加わりお祭りの雰囲気が最高に盛り上がり、多くの家族ずれで終日賑わいました。最後は、ヘリコプターによる林野火災を想定した空中消火訓練が勇壮に繰り広げられ、幕を引きました。

山や森の大切さを理解し行動する人の輪を広げていくきっかけができた一日を感謝しながら、また来年もこの場でお会いすることを誓い、「三原会場」のフィナーレとしました。

記録者：三原市会場運営委員長 櫻井 充弘

里山の手入れ

■参加人数：500名

▼プログラム状況

平成7年全国植樹祭に全国からお集まりの皆さんが植えられたサクラ、モミジ、シラカシ、ヒラドツツジなど樹木の育樹(草刈と施肥)を行ないました。

芸南森林組合の職員と地元のNPO法人「森のおさるさん」のメンバーが班長となり500人が10班に分かれて正午まで木の周りの草刈と固形肥料を根の周りに所定量(肥料10個)をショベルで埋め込みました。

初めて広島自転車競技連盟からも競技選手や家族300人の参加がありました。レース中はライバル終われば仲よし、大変良い思い出になったようです。



きのこ鑑定山歩き会

■参加人数：多数

▼プログラム状況

参加者は、秋の里山に散らばって入りキノコを採取しました。採取したキノコ数種類をテントブースに持ち帰り、キノコの専門家朽木孝一氏から食用と毒キノコに分類キノコについて学びました。



炭焼き体験教室

■参加人数：多数

▼プログラム状況

炭焼きに興味のある方集まれー、移動式炭窯を使用して学習しました。

体験場所がバーベキュー広場の近くであったことからバーベキューしている人で炭に興味のある方の飛び入り参加がありました。

移動式炭窯を使って炭焼きの指導は、三原市シルバー人材センターの小林正司氏、掛迫修平氏から炭ができるまでの工程を学習した後、参加者は事前に準備していた木炭を窯から取り出す作業をしました。木炭のお土産は大変喜ばれました。この炭をバーベキューの炭として使用したグループもありました。

木工教室

■参加人数：5名(会費 1,000円)

▼プログラム状況

唯一有料で実施したイベントで万能イスと巣箱作りに参加者は挑戦しました。広島林業研究グループの蔵本直也氏から一人ずつ丁寧な指導があり始めて大工道具を使ったとは思えないような製品ができました。有料でのイベントは金額を再考する必要性を感じました。



森のネイチャーゲーム

■参加人数：多数

▼プログラム状況

参加者は広島県ネイチャーゲーム協会の犬石直介氏の指導で「フィールドビンゴ」、「カモフラージュ」、「目隠しトレイル」、「目隠し芋虫」などのゲームを一日中楽しみました。



竹の筆づくりと書道教室

■参加人数：多数

▼プログラム状況

竹原市の竹の駅の職員から竹原の竹を使って筆を作り、自分で作った竹筆を使いしかも竹を材料にした紙に字を書きました。筆が竹から出来ることまた紙も竹からできていることなど参加者は驚きの連続でした。



地元の朝採り野菜の販売

■参加人数：多数

▼プログラム状況

尾三地域森林組合の井手原孝範氏と職員の指導により手ノコを使った杉丸太を切る早さを競う競技を終日行いました。勝者には賞品のプレゼントも。



クラフト体験

■参加人数：多数

▼プログラム状況

三原市会場は実質初めての開催で期待と不安の中、4回の実行委員会を経て当日を迎えました。私たち「瀬戸内フォレスト21」も7名のスタッフが竹原の竹を使って「竹鉛筆」と杉板で「焼杉ペンダント」づくりを指導しました。

子供さんがお父さんの手を振り払い、馴れない手付きでカッター、ノコを使い懸命に作品を作る姿は、親子工作教室の醍醐味です。私達も継続して「山の日」に参加してゆきたいと思います。



記録者：瀬戸内フォレスト21 清田 宏和

ポニーと遊ぼう

■参加人数：多数

▼プログラム状況

子馬4頭が平田牧場から来てくれました。子供たちは子馬に触れたり、乗馬を楽しみました。



バイクトライアル

■参加人数：多数

▼プログラム状況

式典前のプロローグとして世界チャンピオンの宮岡啓太氏が自転車の曲芸、ランニング技術を披露してくれました。



地産・地消 森の味覚市

■参加人数：多数

▼プログラム状況

地元素材にこだわった特産物の展示販売8店舗とフリーマーケット参加者10人の出店が彩りを添えてくれました。



森のコンサート

■参加人数：多数

▼プログラム状況

メインステージで正午から2時まで開催しました。腹のそこから響き渡る君田太鼓、モアニ&ブアナニによるハワイヤングダンス、地元からは宗重劇団によるカラオケショー 飛び入り参加するなど会場は盛り上がりました。



ヘリコプター山火事消火訓練

■参加人数：多数

▼プログラム状況

広島県防災航空センターのヘリコプター「メイプル」による林野火災を想定した山火事消火訓練が参加者の見守る中、勇壮に繰り広げられました。



全体

■参加人数：200名

▼プログラム状況

すっきりした秋晴れのもと実行委員は8時に集合し、12時からの音楽会と10時からの森の手入れ作業の受付準備に取り掛かりました。10時にはかんぼの森で八谷文策実行委員長により山の日の開会宣言を行い、実行委員のメンバー指導で森の手入れを開催しました。森の手入れには広島県労働者福祉協議会の皆さんや山岳連盟の皆さん、その他研究会のメンバーなど老若男女合わせて29名が参加しました。みなさんケガもなく気持ちよく作業を終え、参加者の皆さんの中にはその後、さとやまの秋祭りに参加される方も多くいらっしゃいました。12時には音楽会の開会あいさつを金丸等運営委員長が行い、秋祭りの成功を祈念しました。秋祭りでは、森のおいしいダイニング、森のにぎやか音楽会、木工作品展示会など行いました。ダイニングでは、地元のグループなどによる森の食材をふんだんに使ったピザや豚汁などに舌鼓、そして木工作品展示会ではかんぼの森の手入れで出た木材を使った作品の展示など行いました。森のにぎやか音楽会は12時30分から16時まで森の中で地元の音楽グループを中心にフルートの演奏やアルプホルン、高校生による吹奏楽などの演奏を行い、森の中でゆったりとした時間を過ごしていただきました。今回は、知的障害児施設「庄原さくら学園」入所者をお招きしましたが、音楽会を一日中楽しんでいただきました。また、かんぼの森のお散歩ツアーでは広島県森林インストラクター協会の皆さんにご協力頂き、計2回、計6名の皆さんが参加くださいました。またツリークライミングも行っており、子供たちが初めての木登りに挑戦する場面も見受けられました。森のネイチャーゲームでは広島県ネイチャーゲーム協会の皆さんにより2名のみなさんがネイチャーゲームを体験されました。その他森の写真展では東城フォレスト2000の取り組みの紹介や森のバイオマス研究会主催のこれまでのかんぼの森の手入れの様子などの写真を展示しました。さらに食彩館しょうばらゆめさくら会場においてはペレットストーブ展示会を開催し、8台のペレットストーブを展示し、森のバイオマス利用の様子も多くの皆さんに見ていただくことができました。

また、このお祭りは「お祭りエコ大作戦」として森の中にゴミを残さないというポリシーで、お祭りで使用する食器は全てリユース食器を使用しました。慣れない

システムですが参加者の皆さんもきちんと使った食器は洗って返却してくださり、森の中での気持ちよいイベントになりました。最後まで多くの方にお祭りを楽しんでいただき、おかげさまで大盛会となりました。



●会場全体の様子



●八谷委員長による開会あいさつ



●リユース食器



●ツリークライミング

記録者：事務局長 村松 洋士

森の手入れ



森のネイチャーゲーム



かんぼの森のお散歩ツアー



森の音楽会



ペレットストーブ展示会



実行委員会(全体)

(50名)

■アドバイザー	
梶保 節男	広島県 農林水産部 森林保全室 室長
中越 信和	広島大学大学院 国際協力研究科 教授
森本 竹一	元・吉和村村長
■実行委員長	
内海 康仁	光和物産株式会社 代表取締役社長
■副委員長	
伊藤 利彦	愛する熱帯多雨林のために再生紙で名刺を作る会 幹事
瀬川 千代子	ひろしま緑づくりインフォメーションセンター 代表
長谷川 忠彦	広島県山岳連盟 会長
福島 偉人	三原商工会議所 副会頭
前垣 壽男	西条・山と水の環境機構 理事
八谷 文策	NPO法人 森のバイオマス研究会 監事
■委員	
秋山 浩三	広島県ネイチャーゲーム協会
井上 利光	阿品の森サポータークラブ
上本 真穂	生協ひろしま
梅田 齊	(財)もみのき森林公園協会 事務局長
江川 和禎	広島県森林インストラクター連絡協議会 事務局長
大西 弘	広島県森林インストラクター連絡協議会 会長
小野 寛	エコロジー研究会ひろしま
櫻井 充弘	(財)中央森林公園協会 常務理事
佐々木 桂一	生協ひろしま
中尾 光秀	林野庁 広島森林管理署
中島 義昭	さるかに共和国
中野 侃	広島紙ヒコキを飛ばそう会 会長
西尾 勝蔵	林野庁 広島森林管理署
野島 信隆	広島県山岳連盟 理事 普及部長
廣瀬 健	広島県グリーンサポート連絡会 会長
正本 良忠	広島県緑化センター 管理責任者
村松 洋士	NPO法人 森のバイオマス研究会
山崎 弘身	市民参加の森林づくり実行委員会 事務局 次長
山田 雅昭	広島県山岳連盟 理事長
六重部 篤志	広島県自然観察指導員連絡会
■監事	
垣内 孝正	(社)広島県みどり推進機構 事務局長
■事務局(委員兼任)	
連絡調整 兼森志郎	広島県山岳連盟 理事
財務担当 樋口達哉	(財)オイスカ広島支局
企画調整 畷崎辰登	西条・山と水の環境機構 事務局

各会場実行委員会

■福山市メイン会場【ふくやまふれ愛ランド】	
■実行委員長	
内海 康仁	光和物産株式会社 代表取締役社長
■副実行委員長	
福原 不二雄	広島県山岳連盟 副会長・福山山岳会 会長
■運営委員長	
縄 敏行	福山青年会議所 地域力開発 担当理事
■事務局長	
赤木 茂	光和物産株式会社 取締役
■オブザーバー	
増川 隆夫	福山市経済環境局経済部 農政課 次長
池田 信行	福山商工会議所 総務部 次長
松浦 秀実	広島県福山地域事務所 農林局 林務課
三藤 州央	福山市自然研修センター 所長

■東広島市サテライト会場【憩いの森公園】

■実行委員長	
前垣 壽男	西条・山と水の環境機構 理事
■運営委員長	
石井 英太郎	西条・山と水の環境機構 運営委員
■副運営委員長	
島 靖英	西条・山と水の環境機構 運営委員
高下 義彦	賀茂地方森林組合
菊池 亜希良	広島大学大学院国際協力研究科 助教
■事務局長	
吉長 國雄	西条酒造協会
■オブザーバー	
富田 茂夫	広島県東広島地域事務所 農林局 林務課
高橋 久雄	東広島市 農林水産課

■廿日市市サテライト会場【もみのき森林公園】

■実行委員長	
平本 勝吉	(財)もみのき森林公園協会 理事長
■副実行委員長	
大久保 正登	阿品の森サポータークラブ 会長
■運営委員長	
大西 弘	広島県森林インストラクター連絡協議会 会長
■事務局長	
梅田 齊	(財)もみのき森林公園協会 事務局長

■広島市サテライト会場【広島市森林公園】

■実行委員長	
伊藤 利彦	愛する熱帯多雨林のために再生紙で名刺を作る会 幹事
■副実行委員長	
藤原 郁志	広島市森林公園 園長
■運営委員長	
見勢井 誠	もりメイト倶楽部Hiroshima 会長
■副運営委員長	
桑原 清二	フォレストクラブ森守 会長
三原 宏	広島市 農林水産部 森林担当課長
■事務局長	
山崎 弘身	市民参加の森林づくり実行委員会事務局 次長

■広島市サテライト会場【広島県緑化センター】

■実行委員長	
伊藤 利彦	愛する熱帯多雨林のために再生紙で名刺を作る会 幹事
■副実行委員長	
正本 良忠	広島県緑化センター 管理責任者
■運営委員長	
廣瀬 健	広島県グリーンサポート連絡会
■副運営委員長	
久保田 純男	愛する熱帯多雨林のために再生紙で名刺を作る会
■事務局長	
廣瀬 健	広島県グリーンサポート連絡会

■三原市サテライト会場【中央森林公園】

■実行委員長	
福島 偉人	三原商工会議所 副会頭
■副実行委員長	
前田 茂隆	三原市 経済部長
■運営委員長	
櫻井 充弘	(財)中央森林公園協会 常務理事
■副運営委員長	
池田 幸一	三原市経済部 次長
井手原 孝範	尾三森林組合 課長
■事務局長	
中山 誠	(財)中央森林公園協会 次長

■庄原市サテライト会場【かんぼの森】

■実行委員長	
八谷 文策	NPO法人森のバイオマス研究会 監事
■副運営委員長	
坂部 広和	東城町森林組合 組合長
■運営委員長	
金丸 等	NPO法人森のバイオマス研究会 理事
■事務局長	
村松 洋士	NPO法人森のバイオマス研究会 事務局
■オブザーバー	
中原 雅信	広島県 備北地域事務所 林務第二課

協力者・団体等

■福山市メイン会場【ふくやまふれ愛ランド】

- ハイキング&清掃登山/広島県山岳連盟
- 前夜祭/広島県山岳連盟
- 山のグラウンドワーク/広島県東部森林組合、ひろしま緑づくりインフォメーションセンター、グリーンラインを愛する会等
- 森のネイチャーゲーム/広島県ネイチャーゲーム協会
- マイ箸工作/ごみ5R推進本舗
- チップー機による実演/グリーンラインを愛する会
- 活動紹介展示/ごみ5R推進本舗、福山山岳会等
- 地元産品の展示/さるかに共和国、若手漁師の会
- 古民家使用物の展示/ぬまくま民家を大切にする会
- 野鳥の会等/日本野鳥の会 広島県支部
- 可会/山原玲子

■東広島市サテライト会場【憩いの森公園】

- 山のグラウンドワーク/西条・山と水の環境機構、(財)東光会、賀茂地方森林組合、憩いの森友の会、サポート・トレッキング・グループ、東広島造園 建設業協会、広島大学「森林と人間」講座、西条農業高等学校等
- 森のネイチャーゲーム/広島県ネイチャーゲーム協会
- 半尾川の花崗岩・断層・植物—自然観察会/東広島市自然研究会
- 森の野鳥を見よう—野鳥観察会/東広島の野鳥と自然に親しむ会
- やま・もり・里山・ものづくり/ゆーもあファクトリー
- 木の実クラフト/広島県森林インストラクター連絡協議会
- 地元特産品市/JA広島中央
- 紹介します、西条農業高校/西条農業高等学校
- 山の手入れ道具・木工品の展示/賀茂地方森林組合
- 救護/井野口病院

■廿日市市サテライト会場【もみのき森林公園】

- 冠山登山道の整備/阿品の森サポータークラブ、広島県森林インストラクター連絡協議会、広島県山岳連盟
- やってみよう森のボランティア/阿品の森サポータークラブ、広島県森林インストラクター連絡協議会等
- 森のクラフト教室/広島県森林インストラクター連絡協議会
- 森のネイチャーゲーム/広島県ネイチャーゲーム協会
- 自然観察会/広島県自然観察指導員連絡会
- わくわくロケット教室/NPO法人環境教育コーディネート事業
- 林業・農業器具の展示販売/JA佐伯中央

■広島市サテライト会場【広島市森林公園】

- ひろしま「森の市」/もりメイト倶楽部Hiroshima、森林組合等
- 親子でベンチを作ろう/もりメイト倶楽部Hiroshima、市民参加の森林づくり実行委員会
- 森と昆虫—カブト虫を育てよう—/広島市森林公園、フォレストクラブ森守
- モミジの森をつくろう/フォレストクラブ森守、広島市森

- 林公園
- 木の葉さがしゲーム/広島市森林公園、フォレストクラブ 森守、もりメイト倶楽部Hiroshima
- 森のネイチャーゲーム/広島県ネイチャーゲーム協会
- 紙ヒコキを飛ばそう!/広島紙ヒコキを飛ばそう会
- ふっくら石焼いもと旬の野菜/生協ひろしま

■広島市サテライト会場【広島県緑化センター】

- 整備と散策マツタケ山/ふれあい湧
- サクラの森の記念植樹と施肥作業/グリーンさくら会
- 森のネイチャーゲーム/広島県ネイチャーゲーム協会
- 秋のキノコ教室/広島県緑化センター
- 自然観察教室/広島県緑化センター
- まき割り体験・竹細工教室/ふれあい湧
- 親子で遊べるドングリ工作/愛する熱帯多雨林のために再生紙で名刺を作る会
- 親子で挑戦しよう!丸太切り/広島県グリーンサポート連絡会
- 宝探し/広島県グリーンサポート連絡会
- プランター寄せ植え教室/みずえ緑地株
- ペットボトルで花栽培/ふれあい湧
- 紙粘土体験教室/モーモーアート
- 地元の朝採り野菜の販売/狩留家朝市

■三原市サテライト会場【中央森林公園】

- 里山の手入れ/ひろしま人と樹の会、NPO法人森のおさるさん、芸南森林組合、尾三森林組合、広島県自転車競技連盟、帝人(株)等
- キノコの鑑定山歩き会/実行委員会
- 炭焼き体験教室/三原市シルバー人材センター
- 木工教室/広島県林業研究グループ
- 森のネイチャーゲーム/広島県ネイチャーゲーム協会
- クラフト体験/瀬戸内フォレスト21

■庄原市サテライト会場【かんぼの森】

- 森の手入れ/実行委員会
- 森の美味しいダイニング/実行委員会
- かんぼの森のお散歩ツアー/広島県森林インストラクター連絡協議会
- 森のネイチャーゲーム/広島県ネイチャーゲーム協会
- 森の音楽会/実行委員会

注)以上、事務局にて確認している団体・グループについて掲載いたしました。

今年も多くの団体及び関係の方々の協働(コラボレーション)により、事業を行うことができました。心より感謝申し上げます。

第6回ひろしま「山の日」県民の集いの記録

- 発行日 2007年12月15日
- 発行 第6回ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
- 編集 実行委員会事務局
- 事務局 〒730-0041 広島県広島市中区小町2-28-703 担当:畷崎 TEL(082)248-3567 FAX(082)248-3586 e-mail: unezaki@publics.jp